

# アスベスト被害の根絶と全面救済を求めて 公正判決を求める署名

東京高等裁判所第10民事部

裁判長 大段 亨 殿  
裁判官 小林 元二 殿  
裁判官 河村 浩 殿

## 首都圏建設アスベスト訴訟 (東京)

建設アスベスト訴訟は、建設現場で大量に使用されたアスベスト含有建材の粉じんによって生命と健康を奪われた被害者が、国とアスベスト建材メーカーの法的責任を明らかにし、被害の完全な補償を求めて、全国6地裁に提起した訴訟です。

国と製造企業は数十年前からアスベストの危険性を認識していながら、警告や防護策を講じることなく、国の産業政策と企業利益を優先させ、建設労働者の命と健康を奪い続けてきました。

この間の建設アスベスト訴訟に対する各地裁判決では、国の責任を認める司法判断は定着し、企業責任についても賠償義務を認める画期的な判決が京都地裁で下されました。こうした司法の判断を受けて、アスベスト被害の救済を求める世論は、国会・地方議会・マスコミなどをはじめとして、大きな高まりを見せています。

建設アスベスト訴訟は、現在各高裁に5事件が継続する中、貴裁判所での判決が高裁段階での先行判決になるものと、注目を集めるところになっています。ここでアスベスト建材メーカーの責任を断罪し、一人親方等を含めたすべての被害者を救済する明快な判断が下されることになれば、今後の各高裁・地裁の判断はもちろんのこと、「石綿被害者補償基金制度」創設による全面解決に大きく道を開く、歴史に残る判決になることは間違いありません。

貴裁判所が、今日までの到達点を踏まえるとともに、適正な訴訟手続きを尽くし、全ての原告らの権利救済を実現する、公正な判決を下されることを心より切望します。

氏 名	住 所

取り扱い団体

# アスベスト被害の根絶を求めて 公正判決を求める 署名にご協力を!!



国とアスベスト製造企業は、利益のために命を奪う、これがどれ程の苦しみ悲しみを与えてきたのか「あやまれ、つぐなえ、なくせ」

統一原告団長 宮島 和男



建設現場の人達は日本の成長の為、怖いアスベストを知らずに使い必死で仕事をした「人の命に平等な判断を、全国の被害者につぐないを！」

千葉土建 原告団長 町田 八千代



アスベスト被害に苦しんでいる人間が、一人でも多く救われるため、原告団一員として早期解決を求め、共に闘っていきます。

東建従 原告 佐々木 始



国が指定したアスベスト建材を使って石綿肺となり酸素ボンベが手放せません。国も企業も一日も早く謝罪し対策をとってほしい。

神奈川県連 原告団 高橋 静男



国・企業とも、私たち建設職人には、アスベストの危険性を何一つ知らせてきませんでした。酸素ボンベのいない生活を返してほしい。

埼玉土建原告団長 高松 孝平



毎月、命を失う原告の知らせを聞くと胸が痛む、私もいつまで聞えるか、できる限りの力をつくして、この目で勝利の瞬間を見たい

東京土建 原告 寶田 幸男



国はなぜもっと早く危険なアスベストを使用禁止にしなかったのか？父はもっと長生きできたかもしれない、死んだ父は無念です。遺族は悔しいです。

東京建設 遺族原告 深澤 浩光



私の主人は大工で仕事大好き人間でした。しかし体調不良で病院に行くときすぐ入院に。ずいぶん後にアスベストが原因とわかり愕然としました。

埼玉原告団事務局長 大坂 春子



宮本憲一 佐伯一麦 大澤 豊 宇都宮健児 伊藤 真

私も建設アスベスト訴訟を支援しています。

- 渡辺一枝 ●作家
- 森 裕之 ●立命館大学教授
- 宮本憲一 ●元滋賀大学学長
- 樋口健二 ●写真家
- 原 一男 ●映画監督
- 富山和子 ●評論家、立正大学名誉教授
- 東海林智 ●元新聞労連委員長
- 佐高 信 ●評論家
- 佐伯一麦 ●作家
- 北村 肇 ●ジャーナリスト、週刊金曜日発行人
- 大澤 豊 ●映画監督
- 宇都宮健児 ●弁護士
- 植田和弘 ●京都大学教授
- 稲沢潤子 ●作家
- 伊藤 真 ●弁護士、伊藤塾塾長
- 井出孫六 ●作家

(敬称略)

## 私たちが国とアスベスト 建材企業に求める要求

- 責任を認め、すべての被害者に謝罪せよ
- すべての被害者に全面補償せよ
- 被害者補償基金を創設せよ
- 新たな被害者を出さないため  
粉じん暴露予防策を確立せよ

**「あやまれ つぐなえ なくせ」  
アスベスト被害の根絶を**

### 全国建設労働組合総連合(全建総連)

〒169-8650 東京都新宿区高田馬場2-7-15  
TEL 03-3200-6221 FAX 03-3209-0538

### 首都圏建設アスベスト訴訟統一本部

〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-8-16 けんせつプラザ東京内  
TEL 03-5332-3971 FAX 03-5332-3972